

劇団ふあんハウス・団長の独り言 第三十五回公演「夢めぐりin板橋」

「皆さんのご期待に応える芝居」

昨日の土曜日、板橋区主催の障がい者福祉週間イベントが板橋区立グリーンホールであり、我々劇団ふあんハウスも出展者として参加させていただいた。

毎年この時期に開催している行事で、主に区内の福祉関係の団体が様々なお店を出したり、活動内容を紹介したり、ホールでは歌やダンスショーも行っていて、それはそれは賑やかで、とっても楽しい「お祭り」なのだ。

ちようど、我々の公演「夢めぐりin板橋」の本番直前でもあるので、お芝居のご案内をしながら、公演時に行っている様々なバリアフリー観劇サポーターの紹介もさせて頂いている。

劇団ふあんハウスでは、最寄り駅から会場までのガイドヘルプ、座席までのご誘導やトイレへの誘導、そして音声ガイド等々・・・より多くの皆様にお芝居を楽しんで頂くべく、観劇サポーターサービスをずっと続けている。

そのサポーターの紹介をパネルに貼り付けた資料を用いて説明をさせて頂いただいているけれど、来場者の方が一番興味を持たれるのが「音声ガイド・システム放送」だ。

音声ガイドというのは、目のご不自由なお客様でも、舞台上でどんな事が起こっているのかが分かるように、イヤフォン付きFMラジオから流れるガイドを聴きながら観劇していただけるシステム放送の事で、今回も障がい者記念行事へお越しになられた来場者の方に「音声ガイド」を聴いていただくために、実際の音源をCDプレイヤーから流しているのだが、音声ガイドのクオリティーの高さに皆さんびびくり！

音声ガイドのナレーションは、「ボイス・エマノン」さんが行なっている。

「ボイス・エマノン」という名前は、劇団ふあんハウスで活動する時のみの芸名？ハンドルネーム？でして、エマノンさんの普段の仕事は、ラジオやテレビでもおなじみの公共放送局の現役アナウンサーさん。

だからナレーションは、そりやーだかつてもゴージャスなんです。

今回のイベントでも、我々のブースに来られた方は、音声ガイドに興味を持たれる方がとても多く、そこで、イヤフォン付きFMラジオがあればどなたでもこのガイドを聴きながら観劇ができるという事をご説明し、さらに収録風景を撮影した写真等ご覧いただいていると、板橋公演のチケットの購入をしてくださる方もいて、なんとも嬉しい限り。

エマノンさんとの付き合いも、もう二十年だもんね。

ずーっとボランティアで劇団ふあんハウスの音声ガイドと場内アナウンスを担ってくれている。

エマノンさん、いつもいつもほんまにありがとうございます。

お時間の都合がつかようならば一月五日！また劇場にお越しくださいねえ！

さて、毎年開催されるこちらの板橋区のイベントでは、劇団メンバー達がとても目立つ若草色の劇団ハッピを羽織って「説明員」となり、劇団ふあんハウスに興味を持ってくださった方々に笑顔で対応させて頂いていただいている、「あっ！劇団ふあんハウスね。

「よ！」とか、「チケットの予約しました！」等、嬉しい言葉を掛けてくださる方が今年も大勢いらして、継続は力なり！をあらためて実感する。

またこの日は、イベントの間を縫って、毎回お世話になっているASA板橋加賀十条の川崎所長の元へチラシを持参し、ご挨拶にも伺った。

川崎所長は、常に様々なアイデアを出し、事業を拡大されていて、そんな川崎所長の経営者としての話を伺うのが毎回とても楽しみなのです。

で、今回お邪魔したら、なんと！前々から温められていた「宅配弁当屋さん」がついに現実のものとして、スタートしていた。

新聞販売店の店舗の中を改築し、とても清潔で立派な厨房を作り、配達用のオレンジ色の三輪バイクもどーんとあって、あらためてその行動力に刺激をうけまくり、約一時間ほど様々なお話をさせて頂いた。

川崎所長からたくさんのパワーをいただき、再びイベント会場へに戻り、時間いっぱいいっぱいまで板橋区民の方と笑顔でふれあい、いざ稽古場へ。

稽古場に到着すれば、当たり前だけども稽古場。

「だけど私の心は、「熱意」と「やる気」がみなぎっている。」

だって、この日は板橋区のイベントで劇団ふあんハウスブースに来られた大勢の方々の笑顔と、ASA板橋加賀十条の川崎所長をはじめとする従業員の方々の笑顔に、すっごく励まされたからね。

応援していただけるのは、とてもありがたい力になる。

残りあとわずかの稽古を大切に、劇団史上最高の公演を目指すべく、みっちり充実した稽古を行ったのでした。